別記様式第七

遺族
葬祭　補償請求書

殿

河川法第　条の規定に基づき、下記のとおり　遺族
葬祭　補償を請求します。

			請求年月日	年　月　日		
請求者	住所		生年月日	年　月　日		男・女
	ふりがな 氏名		職業		従事者との続柄	
従事者	生前の住所		生年月日	年　月　日		
	ふりがな 氏名		死亡年月日	年　月　日		
			生前の職業			
事故	(事故発生の場所)		(事故発生の日時) 年　月　日　前後　時　分			
	(事故又は疾病の発生の原因及びその状況)					

補償基礎額	補償基礎額　円 基礎額　円 扶養親族　20円×　人＝　円 扶養親族　13円×　人＝　円	扶養親族	氏名	生年月日	従事者との続柄

遺族補償請求金額の計算	支給を受けるべき者が1人の場合	(補償基礎額) 円×1,000＝　円	
	支給を受けるべき者が2人以上ある場合	(補償基礎額)　(この請求書により請求する同順位者の数) 円×1,000×＿＿＿＿ ＝　円　(同順位者の数)	
	同順位者の氏名 / 生年月日 / 従事者との続柄		

遺族補償請求金額　円	(□一時払希望　□分割払希望)
葬祭補償請求金額　円	(補償基礎額　円×60)
遺族補償請求金額と葬祭補償請求金額との合計額	円

備考

1　用紙は、日本産業規格A4の寸法のものとすること。

2　請求者は、※印の欄は記載しないこと。該当する□にレ印を付け、「男・女」及び「前後」については、該当するものを〇で囲むこと。「遺族葬祭」については、必要に応じて〇で囲むこと。

3　「第　条」の箇所には、根拠条文を記載すること。

4　遺族補償の請求者と葬祭補償の請求者とが異なる場合には、各別に請求書を作成すること。